

東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム 「インクルーシブ NIPPON Shinagawa 発 2020 能・狂言特別公演」 開催について

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、品川区、社会福祉法人トット基金、および公益財団法人十四世六平太記念財団が企画した「インクルーシブ NIPPON Shinagawa 発 2020 能・狂言特別公演」を、「東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラム」(*)に採択した。

1. 目的

障害の有無、年齢や国籍に関わらずあらゆる人が出会い、共に楽しみ、新たな価値観を発見する共生社会の実現に向け、品川区文化芸術振興協議会会員である（公財）十四世六平太記念財団・（社福）トット基金及び（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との共催により、5つのプログラムで構成する連続事業を実施する。

2. 日時・プログラム

- A：3月6日（金）、7日（土）「手話で楽しむ能・狂言特別公演」※
 - B：7月26日（木）「Noh Discovering Tradition 能～伝統の発見」
 - C：8月1日（土）「～インクルーシブ NIPPON～手話狂言特別公演」
 - D：8月29日（土）「親子能楽鑑賞会」
 - E：8月31日（月）「ろう児のための能&狂言ワークショップ」
 - F：9月13日（日）「手話で楽しむ能狂言観賞会」
- ※Aプログラムはプレ公演扱い

3. 会場

- 国立能楽堂（渋谷区千駄ヶ谷）：A,C
- 喜多能楽堂（品川区上大崎）：B,D,E,F



4. 内容

- 三宅狂言会の声の出演に合わせて日本ろう者劇団メンバーが手話で演ずる狂言 (A,C,F)
- 喜多流の能一番に手話による同時通訳をつけて上演する他に類の無い試み (A,F)
- 能楽体験と公演観賞をセットにした外国人や子供たちや初心者向け企画 (B,D)
- 狂言と能の基本を学ぶワークショップ (E)

5. 経費 32,940千円

(内訳)

品川区負担分 620千円 (パンフレット印刷経費)
共催団体自己負担分 32,320千円

(※)「東京 2020 NIPPON フェスティバル」共催プログラム

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との共催プログラムとして日本の文化・芸術の力を国内外に発信する文化プログラムを全国展開する。採択された本事業は、大会を象徴する文化プログラムとして東京 2020 大会プロパティを活用できるほか、フェスティバルリーフレットによる周知、海外メディアへの情報提供をすることができる。



東京2020
NIPPON
フェスティバル

Blooming of Culture

文化は、出会いから花開く。